

ちんこきょうだいの

いわての

とってまき!

魅力わんこ盛りのいわてから、いいもの、面白いものをよりすぐり。毎回わんこきょうだいがナビゲートします。

今月のテーマ

岩手町の工場で開発・製造
世界が認めた理美容はさみ

世界的なデザイン賞を受賞!

今年の3月、ドイツで開催された「iFデザインアワード2018」で、(株)東光舎の理美容はさみが最優秀賞を受賞したんだって。これは、岩手工場で作ったはさみなんだよ。

職人の技術と経験を集約!

3年かけて開発した受賞製品は、耐久性の高い素材を採用し、手への負担が少ない立体的な設計。「外観も触感も素晴らしく、あらゆる角度で指にフィットする」と高評価を受けたんだ。

いわての技を広く海外へ!

岩手生まれの理美容はさみは、50カ国以上に出荷されているんだって。開発から製造、修理までを一貫して行う職人さんの技が、世界中の理美容師さんから支持されているんだね。

職人の技と
最先端の技術が
世界中のプロのキョー!



®わんこきょうだい



※海外専売モデルです。

「iFデザインアワード2018」で最優秀賞にあたる「iFゴールドアワード」を受賞したジョーウエルS P Mシリーズ。刃材に、硬く耐久性に優れた素材を使用。立体的に設計されたハンドルは、手への負担が少なく、あらゆるカットテクニックの動きに対応します。

今月の表紙

樋口友樹(ゆうき)さん



1996年、久慈市生まれ。昨年開催された技能五輪全国大会の左官職種で、本県選手団では8年ぶりの金賞を受賞。

機械組立て、造園、日本料理など、42職種で原則23歳以下の若手技能者が腕を競い合う、技能五輪全国大会。

昨年の第55回大会で、岩手県で唯一金賞を受賞したのが、左官職種に出場した樋口友樹さんです。

ものづくりや絵を描くことが好きだった樋口さんは、高校を卒業後、地元の有限会社工藤左官工業所に入社。最初の2年間は、現場で下働きをしながら、久慈高等職業訓練校に通って左官の基礎を学びました。

ひと通り仕事ができるようになった頃、社長から勧められたのが技能五輪。建築技術なども身に付ける必要があり、3カ月間、職業訓練校の先生にみっちり指導を受けました。「練習のおかげで、本番では自分のペースで作業できました。金賞も嬉しいですが、左官以外の技術を学べたのも収穫です」と樋口さん。

この仕事に就いて4年目。左官の魅力を「難しいから面白い」と語ります。左官といっても対象物は幅広く、住宅やマンション、高速道路などさまざま。加えて、その日の温度や湿度、材質に合わせて、ベストな練り方や塗り方の調整が必要です。「優れた職人は、経験値が違う。多くの現場で積み重ねてきたものが、スピードと仕上げの美しさに表れます」。樋口さんは経験を力に変えながら、さらに上を目指しています。